

# つながろうフクシマ! ひろげよう脱原発! 3・8長野行動

原発いらない!  
再稼働反対



10:00 音楽ひろば

10:30 集会

11:10 パレード

雨天決行

- ☆原発なくせの願いを声に!
- ☆みんなの思いを行動に!
- ☆一緒に歩きましょう!
- ☆フラカード、鳴り物大歓迎

NO  
NUKE

私たちは原発の再稼働に反対します。  
原発に頼らない未来を子どもたちに!



3月8日(日)  
10:00

長野市 南千歳公園

3・8長野行動  
実行委員会

袖山榮真 (026) 233-2449  
田澤洋子 (026) 232-1560  
本道多加子 090-7251-1912

# 川内原発再稼働に反対する鹿児島からのアピール

川内原発増設反対鹿児島県共闘会議 事務局長 野 呂 正 和

長野の皆さん、全国の皆さん！

いま日本では、原発再稼働という驚くべき事態が進行しようとしています。わずか4年前、世界を震撼させた福島第一原発事故はなかったかのように原発列島を再び作り出そうとしています。九州電力・川内原発に続き、大飯原発、玄海原発、伊方原発、泊原発と、次々に再稼働に持ち込もうとしています。

## ■福島原発事故でふるさとを破壊した責任は誰も取っていない

福島事故は、放射能汚染水処理はままだけで、汚染廃棄物も増え続けているではありませんか。溶け落ちた炉心には近寄ることさえできません。放射能に追われ、暮らしを破壊されて、家やふるさとを奪われたままの福島の人々が、今なお12万人もいます。地球を汚染し、ふるさとを破壊した責任をとった東電社員、政治家、財界人、科学者は誰もいません。そんな中での原発再稼働は人類に対する犯罪行為です。川内原発再稼働のスイッチを押させてはなりません。



▲ストップ川内原発再稼働！全国集会に集まった3千人の人々（2015年1月25日）。

## ■「100万年に1回の事故を想定すればいい」と再稼働に同意した鹿児島県知事

原子力規制委員会は昨年9月10日、川内原発について新基準に適合すると決定しました。地震問題、火山問題、テロ対策などで多くの専門家が危険性を指摘し、審査書の不十分さを指摘したにもかかわらず、それらを無視した一方的な判断にほかなりません。しかも「避難計画」は審査の対象にもなりません。このまま再稼働に踏み切るなら、万一の事故で私たちのいのちを守ることは不可能です。

しかし、知事は「地元同意は立地自治体と県だけで十分」と一蹴。再稼働容認の記者会見では「制度設計は100万年に1回の事故を想定すればいい。その時の川内は5.6テラベクレル。炉心から5.5キロの所は毎時5マイクロシーベルトです。20で初めて避難ですから動く必要がない。家の中に居てもいい、普通の生活をしていてもいい。規制委員会というあれだけ素晴らしい方々が集った組織が安全性を追求したんです。もし福島みたいなことが起こっても、もう命の問題なんか発生しないのですよね。私はそちらの方を信じます」。これが鹿児島県知事の「再稼働同意」の根拠です。県民の多数はその判断を全く納得していません。とんでもありません。最低限、30km圏の全自治体の同意を得ることができないなら、原発再稼働を断念すべきです。

## ■福島の現実を見つめ、原発のない暮らしを

原発は人類と共存できません。使用済み核燃料という「核のゴミ」は、誰も処理できない人類の負の遺産です。再稼働によってこれをさらに増やしてはなりません。

私たちは強く訴えます。鹿児島にも、日本にも、地球にも、原発はいらない！原発なしで暮らそう！もう一度、あの3・11を、そして、福島の現実をしっかりと見つめよう！